

令和8年1月発行



60周年記念特集号



第86号

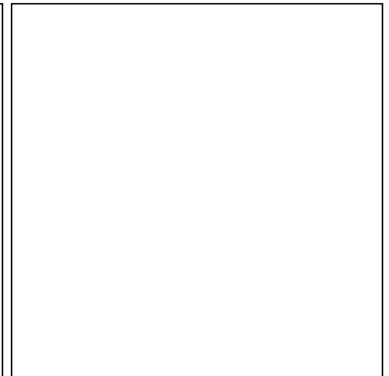
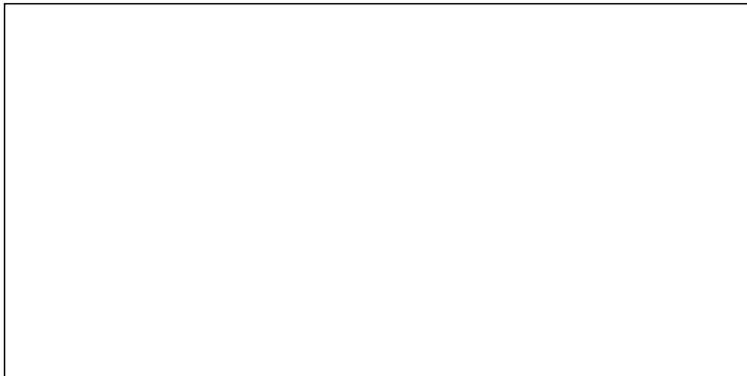
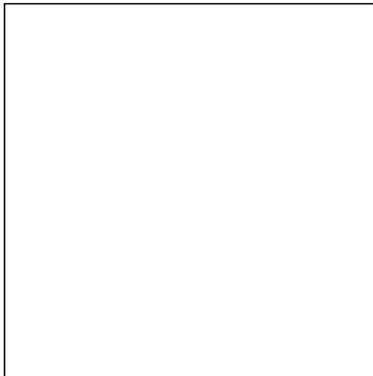
小田原創友クラブ

発行 小田原市老人クラブ連合会 〒250-0055 小田原市久野115-2 ☎ 0465-32-5800 編集 創友クラブ教養部
編集協力・印刷 (株)博報社関東本社 神奈川県厚木市愛甲1-8-39 ☎ 046-280-6001



写真提供 (一社) 小田原市観光協会

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています





新年のあいさつ

小田原市老人クラブ連合会 会長 平井 良一

明けましておめでとうございます。会員の皆様方におかれましては、お健やかに、明るい希望に満ちた新年を迎え、元気で活躍のこととお慶び申し上げます。

今年も丙午年ですので、大きな変化がある新たな飛躍の年です。そして、市老連は、創立60年、人生でいえば、還暦の年回りです。初心に立ち返り、新しい老人クラブ像を築き上げて、これから古稀・傘寿・卒寿と経て、めでたく百年を迎えられますように組織の基盤を固めていきたいと思っております。

皆様には、日頃から創友クラブの諸行事や地域における社会奉仕・友愛・健康づくり活動などにも取り組まれており、ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、会員の高齢化に伴い解散するクラブもあるのですが、地域には多くの高齢者が元気で活躍しております。それらの方々と手を携えて、老人クラブ運動を展開していきたい。将来も展望できるものと思えます。前年に実施した単位クラブアンケートを活かして、それぞれの地域事情に配慮したきめ細かい施策が取れるものと思っております。



新年を迎えて

小田原市長 加藤 憲一

明けましておめでとうございます。

小田原市老人クラブ連合会の皆様が健やかに新春を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。

会員の皆様には、日ごろから健康促進や地域交流、伝統文化の継承など多岐にわたる活動にご尽力いただき感謝申し上げます。これらの活動は、地域の絆を深め、明るい未来を築く大きな力となっております。

現在、小田原市では、第7次小田原市総合計画を策定し、「誰もが笑顔で暮らせる、愛すべきふるさと小田原」を将来都

市像として掲げ、小田原の有する「自然」、「人」、「まち」、「産業」、「文化」といった力を結集させ、その力を最大限に引き出し、にぎわいと活力があふれ、幸せを感じながら安心して暮らし続けることができる持続可能なまちづくりを目指しております。この理念を実現するためには、市民の皆様がともに支え合い、交流を深め、地域に根差した活動を通じてその力を十分に生かしていくことが不可欠となります。

高齢化が進む現代において、貴会の存在はますます大きな価値を持つものとなっております。老人クラブは心身の健康を

画一的な行事運営から離れて、柔軟に運営していくことが必要になってきています。これまでの先輩たちが築き上げた伝統と歴史に敬意を払い、尊重していきませんが、新しい時代に即した対応も同時に進めていく必要にも迫られています。そこで、私たちは自ら健康管理に一層努め、健康寿命の延伸、自立した生活、生きがいのある生活の実現に向けて努力していく所存です。そのためにも私たち創友クラブは、地域創成、安心安全なまちづくりに貢献していく上で、小田原市高齢介護課や社会福祉協議会、地域の諸団体と協働して活動してまいります。

結びに、皆様方のますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

維持し、地域社会との連携を図る重要な役割を担っています。

行政としましても、皆様の活動を全力で支え、そのために必要な施策に取り組み所存でございますので、貴会におかれましては、長年培われた知識や経験を活かし、世代間の架け橋となるときともに、地域での絆の形成に向け、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、小田原市老人クラブ連合会並びに単位老人クラブの皆様が、健康で充実した日々を過ごされ、クラブ活動がますます発展することを願うとともに、共に支え合い、笑顔の輪がさらに広がる一年となりますよう、心から祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

--	--	--	--



新年のご挨拶

小田原市議会議長 井上 昌彦

明けましておめでとうございます。
小田原市老人クラブ連合会の皆様におかれましては、希望あふれる新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。
また、日ごろから、地域におけるボランティアや清掃などの様々な社会活動に携わられ、シニア世代の生きがいづくりと健康の維持増進、さらには、豊かで明るいまちづくりに多大なるご貢献をいただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。
さて、貴会は、昨年11月に創立60周年という大きな節目を迎えられました。この

ような長きにわたり、地域の発展のために活動を継続されていることは、まさに会員の皆様のひたむきな熱意と、絶え間ないご努力の賜物であり、そのご功績に対し、深く敬意を表する次第でございます。
この長い歩みの中で、少子高齢化、国際化やデジタル化の進展など、社会も大きく変化してきました。そうした複雑な社会の中にあっても、貴会におかれましては、会員の皆様の豊富な人生経験や知識、幅広い人間関係など素晴らしい資源を存分に活かし、生き生きと楽しみながら、自



新年を迎えて

福祉健康部長 吉田 文幸

明けましておめでとうございます。
小田原市老人クラブ連合会の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。日ごろより、本市の福祉行政に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

経験が重要となつてきます。同時に、介護サービスの充実も欠かせない課題です。高齢者が安心して暮らせる環境を整えるためには、行政、地域団体、そして市民が協力し合うことが必要です。
会員の皆様の活動は、こうした課題に向き合い、より豊かな地域を築く礎となります。

昨年、少子高齢化が進み、人口構成にも大きな変化が見られます。小田原市でも、65歳以上の高齢者が市民の3割を超える状況となり、これからの地域社会を支えるためには、ますます高齢者の知識や

社会が大きく変化していく中で、人生100年時代を迎えた私たちにとって、地域社会での関わりを持ち続けることは、心身の健康を保つだけでなく、社会全

分のため、周りのために活躍できる場を提供し、その活動を支える大切な役割を果たされています。本市の65歳以上の人口が全体の3割を超え、人生100年時代といわれる中であつて、今後、貴会の果たされる役割は、ますます重要視されていくものと存じます。

市議会といたしましても、だれもが明るく活気に満ち、健康で生きがいあふれる生活を送ることができるとする社会の実現に向けて努力してまいりますので、引き続き、皆様からのご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、貴会をますますのご発展と、会員の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

体に活力を与える重要な役割を果たしてまいります。

自分らしく生活するというのは、決して特別なことではありません。高齢者の皆様の経験や知識を活かし、笑顔で活動することが、若い世代や地域全体に希望を与えるものと確信しております。どうぞ今後も変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健康とご多幸、そして小田原市老人クラブ連合会並びに各単位老人クラブのますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。私の新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています



新年のご挨拶

小田原市社会福祉協議会
常務理事

藤澤 隆則

明けましておめでとうございます。

小田原市老人クラブ連合会の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃から私ども小田原市社会福祉協議会の運営、事業等に対しまして多大なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、全国的に人口減少、少子高齢化が進み、孤立・孤独、ひきこもり、物価高による生活困窮者の増加など様々な課題が増えてきております。特に、地域には深刻な問題にもかかわらず、家族や地域とのつながりが希薄となり一人で問題を抱え込み、支援につなげにくい状況もあります。

社会福祉協議会は、地域生活課題の解決に取り組み、誰もが支え合いながら安心して暮らすことができる。「ともに生きる豊かな地域社会づくり」を使命・果たすべき役割としています。

令和4年に策定した「第4期小田原市地域福祉活動計画」では、市社協が目指す基本理念を「すべての人が安心して暮らせるまちづくり」とする将来像を掲げ、誰一人取り残さないという価値観を大切に考えております。

本年は、市社協にとって、法人設立50年の節目となり、次期となる第5期計画を策定する一年となります。市社協といたしましても、市をはじめ

様々な機関や団体と連携しながら、誰もが住み慣れた地域で安心して生活しているように取り組んでまいります。

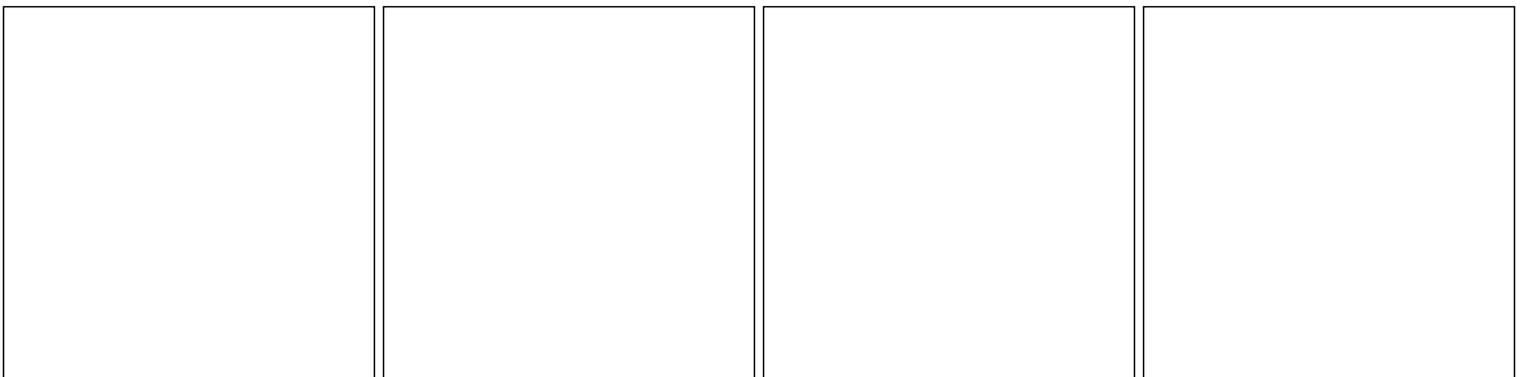
また変化が激しく、先行き不透明であるからこそ、原点を忘れず、市社協らしく現場で共創することを行動指針としてまいります。

市老連の皆様におかれましても、本市の地域福祉活動の主要な担い手として、長年続けてこられた地域での交流や支え合いの活動が大変重要となりますので、今後ともなお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、貴会のみならずのご発展と、新しい年が会員の皆様にとりまして素晴らしい一年となりますよう祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています





創立60周年記念 第60回小田原市老人クラブ連合会大会



令和7年11月18日(火)に小田原三の丸ホール大ホールにて市老連大会を開催いたしました。今回は創立60周年記念大会ということもあって、1部式典、2部基調講演、3部芸能大会という構成になっていて、式典では、曾我副会長の司会進行のもと、北村副会長の開会のことば、君が代斉唱、物故会員への黙祷と続き、平井会長の事業展開する上で協力支援をいただく関係機関や地域団体への感謝が述べられた後に、永年にわたり老人クラブ活動に功績があった方々を表彰いたしました。

【会長職6年以上の方 2名】

東富水地区 小川 富崇さん
上府中地区 市川 直さん

【会長職以外の三役10年以上の方 5名】

国府津地区 夏苺 紗江さん
芦子地区 渡辺 洋子さん
酒匂地区 野口 正二さん
富士見地区 原田 鏡子さん
片浦地区 松本 信勝さん

【老人クラブの発展に寄与された方 1名】

芦子地区 清水 勲さん

今年は60周年記念大会ということで特別表彰の方が22名おられました。

受賞された方を代表して松本さんから謝辞が述べられた後、来賓の加藤市長・井上市議会議員・関野自治会総連合会長からお祝いと温かい激励のことばをいただきました。

2部は小田原城天守閣特別館長の諏訪間順先生の『北条氏と小田原城』についての講演があり、3部では12地区14組の会員による自慢の歌や踊りが披露されました。今回初の演目として朗読劇も登場しました。毎年、新しい企画が登場し、マンネリ化せず新鮮な思いで鑑賞できました。

午後1時から始めて、予定通り午後4時に終了いたしました。

大会には、延べ400人近い方々が参加されて、出演者はもちろんのこと、裏方で支えていただいた老連役員や市社協の方々に感謝申し上げます。



小田原市老連 令和7年度福祉友愛募金

募金額 923,900円



私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

--	--	--	--



市老連 秋の研修旅行

宮本多喜子



創友クラブの秋の旅行は、西伊豆の土肥金山、長八美術館、唐人お吉記念館などを巡り、伊豆急行展望車「リゾート21」で帰るといいう行程でした。

バス3台で出発しましたが、私たち1号車は別コースで、箱根を越えて、西伊豆に向かいました。合流したのは土肥金山です。

金山ではまず、坑内巡りをしました。以前行った佐渡と同様に人形で採掘の様子が再現してありましたが、佐渡とはちがいで、ここでは女の人も坑内で働いていたようです。坑内には神社や風呂場もありましたが、過酷な労働だったにちがひありません。売店は金の作品でいっぱいでした。体験用の千両箱があったので持ち上げてみました。22kgと書いてありましたが重くて、テレビで見る盗人が軽々かと思いましたが、このレストランで食べたお刺身には金箔がのっています。

次に黄金崎を通って、長八美術館に行きました。漆喰壁のレリー

フのようなものを想像していましたが全然ちがって、虫眼鏡で見ると細い絵でした。鏝を使ってこんなことができるのは驚きました。夕食の宴会はカラオケでにぎやかに盛り上がりました。

2日目は、唐人お吉の菩提寺の宝福寺に行き、お吉のあわれな人生の話が聞きました。またこの寺では、坂本龍馬が脱藩の罪をゆるされることにもなったそうです。

お昼は少し狭い料理屋さんでしたが、とてもおいしくいただきました。

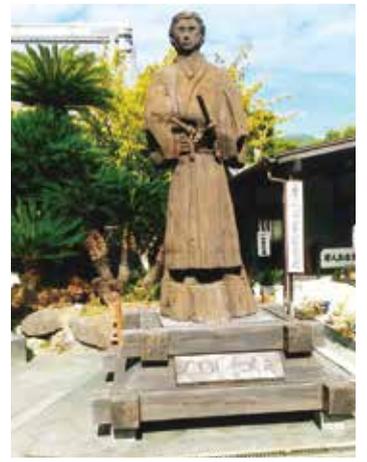
帰りは伊豆急下田駅から伊豆高原駅まで、「リゾート21」で、50分ほどでしたが、窓側の席でゆったり過ごしました。バスばかりでなく、ときにはこんな旅行もいいですね。

西伊豆方面は初めてでしたが、いろいろなことを教えられ楽しい旅になりました。伊東熱海を通って小田原へ向かいましたが、私が一番先に降りしてもらいました。来年はどんな所につれていってもらえるのか楽しみです。



私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

--	--	--	--



女性部役員研修会

女性部副部長 石井いく子

9月12日に、女性部21人の参加を得て、研修旅行が開催されました。前日からの雨も止み、気温も少し下がって、当日は旅行日和になりました。参加者は、小田原駅西口にそれぞれ集合して、バスのガイドさんの案内で最初の目的地になっている東京目黒の雅叙園に向かいました。私たち女性部のメンバーは、年間の活動計画に従って活動しておりますが、このように近距離で親しくお会いできることは貴重な体験でした。

バスの中では、ガイドさんの説明を聞いたり、楽しく話をしているうちに、目黒雅叙園に着きました。ここの「百段階段」は、木造建築で豪華に造られていて、階段ごとに各部屋があって、壁画や天井画・彫刻が施されていて、その美しさは竜宮城のようでした。私たちが訪れたとき、「和のあかり×百段階段」をテーマに、著名な画家たちによる文化財の企画展があり、美しさに感動するばかりでした。

「百段階段」を見学後、施設の中にある中華料理「旬遊紀」で、コース料理を堪能して、2つ目の目的地「東京タワー」に向かいました。

東京タワーの展望台からの眺望は広く、人々の活発な動きを感じ取ることができるほどで最高でし

た。最後にタワー下の観光施設で、お楽しみのお土産選びに充実した時間を費やしました。



帰路のバスでは、にぎやかに会話はずみ、楽しい一日になりました。これからも女性部活動の輪を広げて楽しく盛り上げていきたいと思えます。ご協力をよろしくお願い致します。



私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

--	--	--	--

単位クラブ活動報告

桜井地区

会長 片山 勝



桜井創友会は8地区の単位クラブで構成されています。各クラブの会長は男性4名、女性4名とバランスがとれています。お互いに連携をとりながら独自の活動をしています。毎月1回桜井クラブで会長会議を行い、市老連(理事会)の報告を行い、意見交換をします。

「桜井創友会の活動」

桜井小学校において芸能祭を実施します。各単位クラブの会員が1年間の練習成果を発表する場です。カラオケ、日本舞踊、民謡、歌謡吟詠など、会場には150名の観客で盛り上がりがあります。

「単位クラブの活動」

親睦会(お茶のみ会)、ふれあいサロン(社会福祉協議会、協力)、手芸教室、絵手紙教室、神社清掃、カラオケ教室を行って多数の参加で楽しんでおります。

「市老連主催行事」

春、秋の研修旅行、老人大学、女性部



の行事、グラウンドゴルフ、シルバーズポーツ大会、体力測定、芸能大会、料理教室、ゆめクラブ大学、会長研修会など、積極的に参加し各地区との交流を図っています。

総会員数 307名

桜井地区第一クラブ	会長 片山 勝
桜井地区第二クラブ	会長 曾我 常夫
桜井地区第三クラブ	会長 曾我 節夫
曾比和楽会	会長 小松ともえ
西栢山喜楽会	会長 米山 立子
招寿会	会長 青木 信子
学校前友愛会	会長 杉山 厚子
城北健寿会	会長 八尋 国昭

会員数

男 23名	男 18名	男 7名	男 12名	男 10名	男 13名	男 11名	男 22名
女 24名	女 22名	女 23名	女 27名	女 30名	女 18名	女 19名	女 28名
計 47名	計 40名	計 30名	計 39名	計 40名	計 31名	計 30名	計 50名



私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

下曾我地区

会長 曾我 祐行



下曾我地区は足利平野の東部に位置しており、西に富士山、箱根連山、南には相模湾を望む風光明媚な地域です。また、梅、みかん、キウイフルーツなどの果樹園が散在する緑豊かな場所です。

その下曾我地区には5つの単位老人クラブが集まり、地域の行事に参加しております。

※下曾我地区の5つの単位老人クラブ

高砂会(曾我別所地区)

弥生会(曾我原地区)

相生会(曾我谷津地区)

若葉会(曾我神戸地区)

福寿会(曾我岸地区)

夏には、各地区自治会主催の盆踊り大会、秋には宗我神社の祭礼があり、山車の引き回しに加えて、曾我別所特有の猿田彦尊引き回しは、老人クラブが主役です。

祭りが終わって2週間後には、各地区対抗の健民祭が行われ、各世代間の交流や、各地区間のふれあいを広めています。

※本号では、曾我別所地区の高砂会の活動をご紹介します。

総会員数 368名

福寿会	高砂会	相生会	若葉会	弥生会
会長	会長	会長	会長	会長
柏木 政弘	内野 章	佐宗 紀之	村上 文敏	曾我 祐行

会員数

男 32名	男 28名	男 39名	男 24名	男 42名
女 29名	女 51名	女 43名	女 41名	女 39名
計 61名	計 79名	計 82名	計 65名	計 81名

別所地区内では小、中学生通学路の見守りの安全運動を自治会とともに実施しております。

また、環境美化清掃として、各組代表の役員さん十数名にて長年にわたり、史跡「二宮尊徳遺髪塚」、地区内氏神様「八幡社」、「津島神社」を隔月にて美化清掃をおこなっております。

このように、自治会、社会福祉協議会、赤十字奉仕団などの行事に積極的に参加して、地域の交流、活性化に寄与していると自負しております。



このような老人クラブ活動も他地区と同様、会員の高齢化や会員減少が続いております。時

代の変化につれ、メディア拡大による情報量の増加、個人の価値観の多様化など、要因はいろいろ考えられます。

しかしながら、70年以上は続いている伝統ある「高砂会」を、地道なふれあい活動を通じて少しでも永く継続していけたらと思っております。

最近では、曾我別所地区ふれあい盆踊りの練習を月2回公民館で始めました。明るく、楽しく、元気にをモットーに、一つのふれあいが次の輪を広め、心の交流を大きくして、会員皆様の健康生活が継続されることを望む次第です。



私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

--	--	--	--

豊川地区

会長 澤地 輝一



私達の豊川地区は、足柄平野

の中程にあり、酒匂川下流の左岸です。古来より豊かな清水に恵まれて江戸期〜昭和に、水路の改修が行われ酒匂堰や鬼柳堰などが整備されました。

桑原は稲作や果物・野菜農家が多く、特に秋の収穫時は賑やかです。

清寿会は会員51名で約半数が農業に携わっています。お祭り・稲荷講・どんど焼き、また、クリンさかわなど地域の行事に参加し、会員の高齢化(平均年齢82歳)で近くの施設での活動を余儀なくされていますが、サロン会ではポッチャやマットスで「フレイル予防」、また、便利グッズの手作り講座・シルバーコースなどを楽しんでいます。

ボランティア活動として、学童の通学路見守り隊やアルミニ缶集めりサイクル、桜提の草刈り、夏期には神社での「ラジオ体操」で地域との親睦を図り、子どもたちに伝承する活動を行います。



サロン会 ポッチャ競技



サロン会 参加記念写真



お神輿をかつぐ



シルバー作品展



ボランティア「クリーンさかわ」



おまつり
「家族にスコットランドの青年」



サロン会 茶話会・ポッチャ他



バス旅行 伊豆の伊東ガーデン



酒匂川左岸「大漁桜を楽しむ会」



清寿会 茶話サロン



サロン会「作品展勉強会」

総会員数
104名

西成田清寿会
飯泉西清寿会
桑原清寿会

会長 片野 隆夫
会長 上杉 馨
会長 澤地 輝一

会員数

男 12名	男 13名	男 7名
女 39名	女 14名	女 19名
計 51名	計 27名	計 26名

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

第53回 シルバー作品展 開催報告

記 平井 良一

令和7年10月19日(日)、小田原市生きがいふれあいフェスティバルが酒匂の生きがいふれあいセンター“いそぎ”において開催されました。共催者として小田原市老人クラブ連合会も『シルバー作品展』を同時開催いたしました。

今回は出展者は115名、作品数は130点余ほどでした。当日の来場者数は約300名程度でしたが、午前中に集中して、午後、加藤市長が見学に来られた頃からはゆったりと鑑賞できたと好評でした。

同じ会場で三世代交流事業の一環で手作りのしおりや折り紙コーナーもあり、子ども向けのガチャも用意されていました。そして、今年も出展者の中から最高齢者男女1名ずつ感謝状贈呈式を行いました。

男性は芦子地区の亀山忠彦さん、女性は上府中地区の和田梅子さんでした。

コロナ以前は、会場狭しと溢れんばかりの作品が展示されておりましたが、今回は余裕のある配置となっていて、隔世の感がありました。今回、出展がなかった地区の会員の方々には、ぜひ来年度はふるってご参加くださるよう誌面を借りてお願い申し上げます。

シルバー作品展開催にあたり、ご協力いただいた市福祉政策課や社会福祉協議会の関係者の皆様、そして、会場の設営撤収・作品の搬入搬出・作品の展示など、お手伝いくださった理事役員、小物づくりに精を出された女性部の皆様、ご協力いただき誠にありがとうございました。



私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています



スポーツのつどい

宮本多喜子

12月11日、福社会館ホールで、スポーツのつどいが開催されました。

これは11月に中止になったシルバースポーツ大会の代替事業として行われたもので、午前には各地区6名の参加で、ニュースポーツ競技（輪投げ、風船運びリレー、ボール送りリレー）、午後は女性部のポッチャを行いました。

輪投げは、1人3本ずつの輪を投げて点数を競いますが、輪が弾んだり転がったりで、思うようにはできませんでした。風船運びは風船をお盆にのせて運ぶのですが、風船が軽く、急ぐとフワフワと浮き上がり、のせるより横から押していくような人もいました。ボール送りはいつものスポーツ大会と同様でしたがボールが軽く少し楽だったようです。

社協の常務さんや高齢介護課長さんたちにも参加していただき、終始なごやかな笑いと応援が聞こえていました。

午後からは女性部のポッチャをしました。

各地区から3人ずつの1チームで対戦しました。

初めての方もいましたが、先に練習をし、男の役員さん方にもお手伝いいただき、無事終わりました。点数はつけましたが、順位はつけずに楽しみました。

屋外での大規模なシルバースポーツ大会も良いけれど、このような小さなつどいもたまにはあるといいなと思える一日でした。

計画から準備までしてくださった関係者の皆様方、本当にありがとうございました。



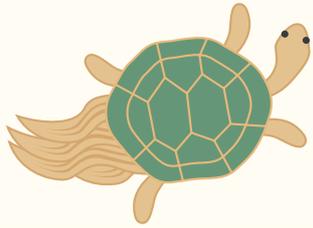
私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

--	--

【100歳長寿の会員】(掲載対象者:大正14年4月~大正15年3月生まれ)
令和7年10月~令和8年3月までに100歳を迎えられる方

該当月	地区名	クラブ名	氏名	生年月日
11月	片浦	根府川高砂会	鈴木サカエ	大正14年11月3日
12月	下曾我	弥生会	川久保岩吉	大正14年12月20日
1月	下曾我	高砂会	小室 ナカ	大正15年1月2日
	国府津	第一文教睦会	諏訪部国平	大正15年1月3日
	片浦	根府川高砂会	眞壁キヌ子	大正15年1月4日
2月	下曾我	高砂会	安池 佳男	大正15年2月14日
3月	下曾我	若葉会	湯川 恒平	大正15年3月20日

百歳長寿



会員募集中!!

60歳を
すぎたら

シルバー人材センターへ



連絡先 生きがいふれあいセンターいそしぎ内

☎0465(49)2333 【永井・山田・朝倉】

興味のある方は

小田原市シルバー人材センター

検索

健康で、働く意欲のある高齢者の就業をサポートする公益社団法人です。民間企業・家庭・公共機関などから仕事を引き受け、会員に提供します。毎月第3火曜日に説明会を行っています。

会員加入増強運動

小田原創友クラブの推進項目として

- ① 未加入者宅にパンフレットの投函。
- ② 会員1人が新しい会員1名以上の勧誘をする。
- ③ 未加入自治会の創友クラブの結成をはかる。
- ④ 単位クラブ2名以上の増員が最低目標。

会員投稿

酒匂地区
第二寿栄広会
福島美代子

小さな愛の心を重ねて子どもたちを育て泣いて、寝て、夢を見て、自分で生命の希望をもって育つていく、あなたの大きな心の夢が気になるの、幸せ来つつと思う。

人様には、釘を刺すようなことはしないで、よく見てあげるような気持ちになっていくように大事にしなければいけないのだなあと思います。

私たちが良くなれば良いと思います。

幸せは自分が作るもの、なぜか、私は心の中が人様を見てあげたい気持ちが出てきてやめられないようになり。自分ばかりが良いといけないような気持ちとなり、とんでもないことです。

他の人を良くしたいと思う毎日です。

私は、つくしの会を作っているけれど、皆、楽しんで出かけていきます。私の友達は本当に気が合って大好きです。

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

会員文芸

俳句

東富水地区 蛭田フレンズ 青木 陽子
 菊の香や井戸端会議とめどなく
 蓑虫に動いてみよと息をかけ
 縦に剥き渦巻きに剥く小芋かな
 水よりも冷たき大根午後三時
 行儀よき猫のおすわり小正月

川柳

十字地区 西海子クラブ 生田目茂子
 虹の橋渡った猫に言い忘れ
 ここだけの話よそれが皆んな知り

短歌

酒匂地区 第二寿栄広会 大木 敬子
 (春)ひと日ひとつ我を褒めたりシクラメン
 (秋)気は先立ち足はおざなり運動会

十字地区 西海子クラブ 生田目茂子
 秋 柿一ツ残りし枝に猿親子
 冬 朝一番背中にカイロおんぶして

片浦地区 高砂会 宮本多喜子
 熊よりは猪の方がまだましと
 桜の根本の大き穴見る
 荷台いっぱい蜜柑を積んだトラックが
 せまき農道ゆっくり下る
 赤や黄の落葉が歩道を彩りて
 踏むをためらう霜月半ば

原稿募集

「小田原創友クラブ」87号(令和8年夏号)に掲載する原稿を募集しています。
 単位クラブ活動や仲間同士でのボランティア活動、特別な行事や地域の奇祭などに参加している様子をご投稿ください。(活動している様子、行事の様子などが分かる写真を添付してください)
 また、日々の雑感(随想)、旅行記、俳句、短歌、川柳などもお寄せください。

- 紙面の都合により、長文の場合は文章をカット、または次号掲載とさせていただきます。
- 二重投稿、発表済みの作品は受け付けていません。
- 原稿には、氏名・地区名・クラブ名・電話番号を必ず明記してください。



締切日 令和8年5月末日 **発行** 令和8年8月

宛先 〒250-0055 小田原市久野115-2 おだわら総合医療福祉会館内
 小田原市老人クラブ連合会 「小田原創友クラブ」教養部

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

--	--	--	--

創友クラブ創立60周年特集号

創友クラブ沿革

【生誕期】昭和39年～昭和61年

・昭和39年8月13日、クラブ数91、会員数約2,000人で「小田原市老人クラブ連合会」(略称、市老連)が発足する。

・運営組織的に総務、教養、厚生、体育の4部門を発足、老人大学、作品展、体育祭といった事業を開始する。

【自立期】昭和62年～平成6年

・連合会事務所の所管が小田原市から市社会福祉協議会へ移管する。

・市の大きなイベント(北条五代まつりなど)に参加する。

・市内の小学校で植樹を行うなど、積極的に地域貢献を果たす。

【成長期】平成7年～平成25年

・グラウンドゴルフなど新スポーツを取り入れ、積極的な健康づくりと介護予防対策に活動領域を広げている。

・女性委員会(後に女性部)を発足させ、正副委員長を常任理事にする。

【安定期】平成26年～平成31年(令和元年)

・新規会員獲得を目指して、愛称「小田原創友クラブ」を決める。

・おだわら総合医療福祉会館内に事務所を移転する。

【半減期】令和元年～令和7年

・令和元年12月から新型コロナウイルス感染症のパンデミックが起こり、3年間は活動休止状態に追い込まれる。

・会員の高齢化、役員のなり手不足により解散するクラブが続出する。令和7年4月現在、クラブ数73、会員数約3,400人。

歴代連合会長

初代	原 弁梁氏 (片浦地区)	発 足～昭和49年度
2代	山口源太郎氏 (足柄地区)	昭和50年度～昭和61年度
3代	岩本 清作氏 (豊川地区)	昭和62年度～昭和63年度
4代	尾崎善二郎氏 (国府津地区)	平成元年度～平成2年度
5代	志村 健三氏 (下府中地区)	平成3年度～平成11年度
6代	国見 進氏 (早川地区)	平成12年度～平成13年度
7代	小瀬村武二氏 (緑地区)	平成14年度～平成21年度
8代	田中 一男氏 (酒匂地区)	平成22年度～平成23年度
9代	杉崎 勲氏 (曾我地区)	平成24年度～平成29年度
10代	大友 昭夫氏 (上府中地区)	平成30年度～令和3年度
11代	山口 繁氏 (山王網一色地区)	令和4年度～令和5年度
12代	平井 良一氏 (十字地区)	令和6年度～現在



10代
大友 昭夫氏



11代
山口 繁氏



12代
平井 良一氏

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

会員数・予算額の推移 旅行先

年度	クラブ数	会員数(人)	予算額	旅行先	
平成28年度	134	7,826	9,172	春	桜の京都・奥座敷湯の花温泉
				秋	宮城蔵王・城下町米沢・南東北
平成29年度	133	7,531	8,104	春	名古屋城・明治村など
				秋	富山黒部アルペンルート
平成30年度	130	7,355	8,442	春	栃木県日光東照宮陽明門
				秋	姫路城・比叡山延暦寺・近江八幡
令和元年度	124	6,669	8,338	春	名勝草津・ぐるっと信州名所
				秋	仙台青葉城址・いわきスパリゾートハワイアンズ
令和2年度	119	6,138	7,875	春	京都御所・若狭湾・三方五湖(中止)
				秋	コロナ感染症流行のため実施せず
令和3年度	110	5,447	7,780	春	コロナ感染症流行のため実施せず
				秋	コロナ感染症流行のため実施せず
令和4年度	103	5,076	7,207	春	コロナ感染症流行のため実施せず
				秋	コロナ感染症流行のため実施せず
令和5年度	93	4,250	7,169	春	三嶋大社・大室山周辺さくらの里 東山旧岸邸・五竜の滝・三嶋大社
				秋	石和温泉・山梨名勝めぐり
令和6年度	79	3,675	7,202	春	遠江国一宮小國神社 御坂桃源郷春まつり
				秋	西浦温泉・豊川稲荷
令和7年度	73	3,322	6,583	春	権現堂桜まつり・館林こいのぼりの里 富士山ぐるり旅・東口浅間神社
				秋	西伊豆・展望列車の旅
				特別	目黒雅叙園(女性部地区代表)



平成 28 年度から令和7年度 小田原市老人クラブ連合会役員名簿

★顧問 ◎連合会長 ○副会長

地区名等	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
緑	○浅岡 緯	○浅岡 緯	○浅岡 緯	○浅岡 緯	森末 建	森末 建				
新玉	伊藤勝彦	伊藤勝彦	林 昌三	林 昌三	林 昌三	村山雄二	村山雄二	村山雄二	村山雄二	村山雄二
万年	伊豆川 毅	伊豆川 毅								
幸	朝見健夫	朝見健夫	朝見健夫	朝見健夫	朝見健夫	朝見健夫	○朝見健夫	○朝見健夫	○朝見健夫	○朝見健夫
十字	辻 喜治	辻 喜治	平井良一	平井良一	平井良一	平井良一	○平井良一	○平井良一	◎平井良一	◎平井良一
足柄	椎野政秋	椎野政秋	川田康弘	川田康弘	川田康弘	川田康弘	川田康弘	川田康弘	川田康弘	川田康弘
芦子	穂坂理弘	穂坂理弘	亀山忠彦	亀山忠彦	磯崎 透	磯崎 透	中村 力	中村 力	山本日出夫	山本日出夫
二川	石川辰男	石川辰男	山本 茂	山本 茂	小林良造	小林良造	石川辰男	石川辰男	清水孝男	清水孝男
富水	熊坂太郎	熊坂太郎	押田光泰	押田光泰	井上勝美	井上勝美	押田光泰	押田光泰 (若林俊男)		
東富水	本間 豊	本間 豊	木村賀茂	木村賀茂	木村賀茂	木村賀茂	木村賀茂	木村賀茂	木村賀茂	木村賀茂
久野	○北村時夫	○北村時夫	○北村時夫	○北村時夫	○北村時夫	○北村時夫	○北村時夫	○北村時夫	○北村時夫	○北村時夫
大窪	鈴木幸一	鈴木幸一	鈴木幸一	鈴木幸一	鈴木幸一	鈴木幸一	鈴木幸一	鈴木幸一	鈴木幸一	鈴木幸一
早川	秋山和雄	秋山和雄	秋山和雄	秋山和雄	秋山和雄	秋山和雄				
山王網一色	○山口 繁	○山口 繁	牧野勝美	牧野勝美						
下府中	○志村善治	○志村善治	○志村善治	○志村善治	小泉政治	小泉政治	新井知功	新井知功	新井知功	新井知功
桜井	片山 勝	片山 勝	○片山 勝	○片山 勝	○片山 勝	○片山 勝	○片山 勝	○片山 勝	○片山 勝	○片山 勝
豊川	水野 宏	水野 宏	八森 剛	八森 剛	八森 剛	八森 剛	上杉 馨	上杉 馨	上杉 馨	片野隆夫
上府中	小泉郁夫	小泉郁夫	小泉郁夫	小泉郁夫	磯崎 衛	磯崎 衛	小池規雄	小池規雄	小池規雄	小池規雄
下曾我	関野弘行	関野弘行	鳥越睦夫	鳥越睦夫	鳥越睦夫	菅沼正之	菅沼正之	曾我祐行	○曾我祐行	○曾我祐行
国府津	鈴木清治	関口昌己	関口昌己	関口昌己	関口昌己	関口昌己	関口昌己	関口昌己	片野静民	片野静民
酒匂	栗原総育	堀内 勇	堀内 勇	堀内 勇	堀内 勇	堀内 勇	鈴木良紀	鈴木良紀	鈴木良紀	鈴木良紀
片浦	宮本多喜子	宮本多喜子	宮本多喜子	宮本多喜子	矢郷昌行	矢郷昌行	矢郷昌行	矢郷昌行	高杉都子	高杉都子
曾我	鳥居明男	鳥居明男	田中正男	田中正男	稲毛 優	稲毛 優	長田尚夫	長田尚夫	中津川 隆	中津川 隆
前羽	杉山栄一	杉山栄一	杉山栄一	杉山栄一	坂口 修	杉山栄一	杉山栄一			
下中	津田政宏	津田政宏	井田堯明	井田堯明	阿部信二	阿部信二	井田堯明	井田堯明	井田堯明	
富士見	加賀方雄	松本 満	加賀方雄	加賀方雄	早野成二	早野成二	香坂功喜	香坂功喜	宇佐美 功	宇佐美 功
学識経験者	◎杉崎 勲 ○大友昭夫	◎杉崎 勲 ○大友昭夫	★杉崎 勲 ◎大友昭夫	★杉崎 勲 ◎大友昭夫	★杉崎 勲 ◎大友昭夫 ○志村善治	★杉崎 勲 ◎大友昭夫 ○志村善治	★大友昭夫 ◎山口 繁	★大友昭夫 ◎山口 繁	★山口 繁	★山口 繁
女性部長	○市川初江	○市川初江	○市川初江	○市川初江	○市川初江	○市川初江	○宮本多喜子	○宮本多喜子	○宮本多喜子	○宮本多喜子
女性副部長	宮本多喜子	宮本多喜子	宮本多喜子	宮本多喜子	宮本多喜子	宮本多喜子	石井いく子	石井いく子	石井いく子	石井いく子

令和 3 年

2021 年

第 76 号 令和 3 年 1 月発行より、全面カラー刷りとなる。

小田原市 小田原三の丸ホール開館

国内 東京オリンピック・パラリンピックが開催
世界 新型コロナワクチン接種が各国で進む



令和 4 年

2022 年

上府中地区 大友長寿会が「地域環境美化功績者」環境大臣賞を受賞する。

令和 4 年に山口会長が就任し、大友会長は顧問に就任。

小田原市 eスポーツ観光の始動

国内 成人年齢が18歳に引き下げられる
世界 ロシアによるウクライナ侵攻が始まる



令和 5 年

2023 年

コロナ禍により中止していた研修旅行を再開する。春には日帰りバス研修旅行を実施し、秋には1泊2日の研修旅行を行った。

小田原市 郷土文化館企画展「100年の記憶と記録ー小田原の関東大震災ー」開催

国内 新型コロナが5類感染症へ移行
世界 アフターコロナにより社会活動が本格化する



令和 6 年

2024 年

女性部のつどいを年1回から年2回へと拡充する。より多くの女性会員が参加できるよう、手芸や運動など、内容に幅を持たせて実施する。

令和6年に平井会長が就任し、山口会長は顧問に就任。橘ゆうゆうクラブが、全国老人クラブ連合会会長賞を受賞する。

小田原市 朝の連続テレビ小説「虎に翼」ゆかりの邸宅が公開される

国内 20年ぶりとなる新紙幣が発行される
世界 世界各地で自然災害が相次ぐ



令和 7 年

2025 年

女性部の活動をさらに活発化させるため、秋には女性地区代表者を対象とした日帰りバス研修旅行を実施する。本企画は、歴代初の取り組みである。

永年タブロイド判で発行してきた会報「小田原創友クラブ」は、第85号(令和7年8月発行)よりA4判へと判型を変更する。

宮本多喜子氏が、全国老人クラブ連合会会長賞を受賞する。

小田原市 小田原市立病院の建て替え工事が進み、令和8年(2026年)5月の開院に向けて準備が進められている

国内 大阪・関西万博が開催される
世界 ロサンゼルスをはじめ、各地で大規模な山火が発生



60th

平成 28 年 1 月

2016 年

小田原市より、永年にわたり明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上に積極的に取り組んできた活動に対し、市民功労賞を受賞する。

8 月

第 67 号（平成 28 年 8 月発行）より、単位クラブ活動報告頁（見開き面）がカラー刷りとなる。

小田原市 小田原城天守閣が耐震改修を経て再開
国 内 熊本地震が発生



平成 29 年 10 月

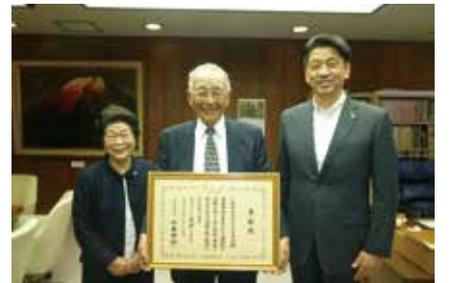
2017 年

11 月

小田原市老人クラブ連合会が厚生労働大臣賞を受賞する。
曾我第二地区友愛チームが神奈川県知事賞を受賞する。
小田原市老人クラブ連合会が赤い羽根共同募金会より感謝状を受賞する。

広報紙「市老連だより」を「小田原創友クラブ」に名称変更。

小田原市 小田原城天守閣の入場者数が 100 万人を達成
国 内 天皇陛下が退位の意向を表明



平成 30 年

2018 年

総務部長の大友昭夫氏が会長に就任し、会長の杉崎勲氏は顧問に就任する。

小田原市 城下町観光が国内外から注目される
国 内 平昌五輪で最多メダルを獲得
世 界 米朝 史上初の首脳会談が行われる



平成 31 年

令和元年

2019 年

顧問の杉崎勲氏が、小田原市より市民功労賞を受賞する。

小田原市 市民ホール工事着工
漁港の駅 TOTOCO 小田原開業
国 内 天皇陛下ご即位 令和に改元
消費税 10%に引き上げられる



令和 2 年

2020 年

新型コロナウイルス感染症の予防対策により、事業計画の中止や遅れが生じたが、参加人数を減らすなどの対策を講じ、できるかぎり事業を実施する。

神奈川県高齢者福祉関係功労者として、大友昭夫氏（当時会長）が神奈川県知事賞を受賞する。

市川初江氏（当時女性部長）が藍綬褒章を受賞する。

小田原市 小田原市制施行 80 周年を迎える広域交流施設「ミナカ小田原」内に小田原駅東口図書館が開館

国 内 新型コロナウイルス感染症の急速な感染拡大防止を目的に緊急事態宣言が発出
世 界 新型コロナウイルス感染症が世界的に流行



活動アルバム



芸能大会



秋の研修旅行



あしがき

寒さの厳しい日が続いておりますが、会員の皆様におかれましては、お変わりなくお過ごしのこととお喜び申し上げます。

市老連におきましては、最大の行事である市老連大会を、昨年11月18日に三の丸ホールにて、加藤市長をはじめ多くの来賓の皆様のご出席をいただき、盛大に開催することができました。

さて、今号は市老連創立60周年を記念し、増頁として記念特集号をお届けしております。これまでの歩みを振り返るとともに、今後のさらなる発展への思いを込めた内容となっております。

風邪などをひきやすい時期ではありますが、体調管理に十分ご留意いただき、元気にこの冬を乗り切ってください。できれば幸いです。

(教養部)

ご協賛いただいた皆様への御礼

このたびは、広報紙に広告のご協賛をいただき、誠にありがとうございます。本紙は紙面を通して会員の交流・情報交換はもとより、地域の皆様に老人クラブの活動をご理解いただき、一層の交流の輪を広げるため発行するものです。以上の趣旨をご理解いただき、引き続き広告掲載のご協力を賜りますようお願い申し上げます。【小田原市老人クラブ連合会】

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

